

● 植木温泉・歴史散策＋フットパス

北区役所の「ぶらり北さるき」事業を田底校区自治協議会が引継ぎ、**新たにフットパスを組み合わせた取り組み**を展開。

【田底校区の現状】

- ・ 高齢化率39.2%
- ・ 8年間で283人減少



植木温泉・歴史散策
＋
フットパス



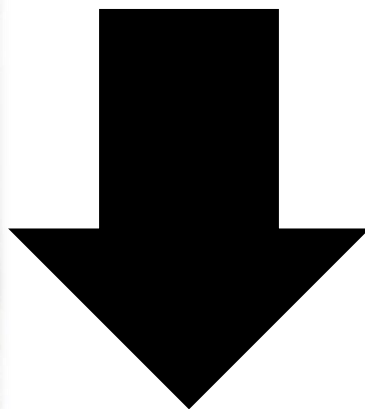
- ・ 地域外との交流人口を増やすことで地域を活性化！
- ・ 田底校区のファンを作る！
- ・ 地域の住民が田底の良いところに気づく！

● 植木温泉・歴史散策＋フットパス

ポイント1 熊本市文化財指定に漏れた史跡の魅力再発掘

課題①：お地蔵、お城跡、お堂などの史跡が管理できない。

課題②：町内の史跡管理者も高齢化が進み担い手が減少。



対応①：フットパスのポイントを活用し、史跡整備を実施。

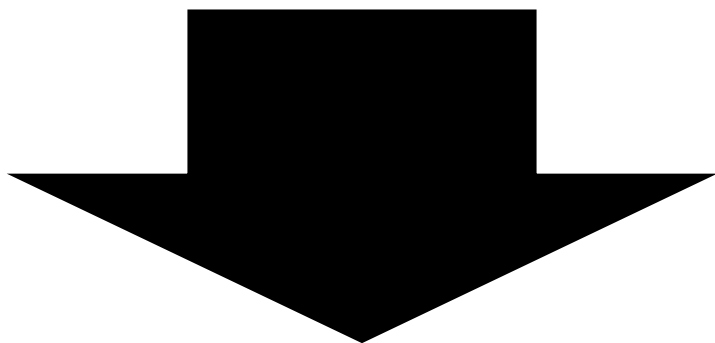
対応②：校区全体で管理・整備を行い、次世代へ繋ぐ。

● 植木温泉・歴史散策＋フットパス

ポイント2「田底歴史の会」との連携

田底歴史の会に下記を依頼。

- ・ 散策時の史跡ガイド
- ・ 散策に使う文化財等案内図の作成



～地域資源の発掘と継承～
～田底歴史の会の活性化～



「田底地区文化財等案内図」
田底歴史の会作成

● 植木温泉・歴史散策＋フットパス

ポイント3 田底校区の強み「植木温泉」のアピール

- ・フットパス途中に植木温泉でおもてなし。
- ・フットパス利用で校区外の「田底ファン」を作る！
- ・口伝えでのコママーシャルを狙う。

～田底の宝「植木温泉」の観光にも一躍～



帰りに温泉を楽しんでもらう。



フットパスの途中に足湯を楽しむ

● 植木温泉・歴史散策＋フットパス

ポイント4 財源に「くまもと里モンプロジェクト」を活用

「美しい景観の保全、創造」

「文化コミュニティの維持、創造」

「地域の資源を活用した内発的産業の創造」

3つのテーマに合致する地域の新しい取り組みとして、平成30年度くまもと里モンプロジェクト推進事業に採用。

